



～戮力協心～ NO.31

2023年3月1日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

2023 JR 総連春闘 第2回交渉～要求の根拠～

中央本部は2023年3月1日に「23春闘第2回交渉」を行なってきました。

組合の要求の根拠

- ・新型コロナウイルス第8波が減少傾向となっているが、依然として感染力が強い変異株も出てきている。その中で、運輸・物流のエッセンシャルワーカー・指定公共機関として鉄道貨物輸送の社会的責任を果たすため業務に尽力している！
- ・経常利益は1月期改定により△44億円となっており、収入計画は大きく下回ったが職場では老朽化した設備やひっ迫した要員状況で日夜を問わず収入拡大のために奮闘している！
- ・若年退職について、会社施策と職場実態で乖離がある。転職の時代とも言われる中、新採獲得と人材流出防止のため、賃上げは不可欠である！
- ・物価上昇は直近の消費者物価指数が昨年同月比で4%上昇しており、2022年の平均値でも前年度と比較して2.6%上昇している。また社会保険料の改定により、組合員の実質賃金は大幅に低下している。また、北日本においては、電気代・ガス代が倍になっており、寒冷地手当だけでは補えていない！
- ・職場の組合員は切り詰めた生活をしている。会社は職場を回っていると言うが、職場の現実と組合員の切実な声を掴めていない。掴んでいるならば対策に動くはずだ！
- ・経営状況について厳しいと言うが、経協等でこの間指摘してきた。そのしわ寄せがきて、職場に影響を与えていることは、極めて経営陣の責任である。会社経営陣は経営努力をすることと社員の生活に責任を持つべきである！

会社の回答

- ・交渉内容は経営幹部に伝えていくと共に、現在も社内で議論は行なっている。
- ・コロナ緩和により経済は回復しつつあるが、鉄道事業は回復していない。3月の挽回にもよるが、ここ数年ない苦しい状況。
- ・物価上昇による世間の状況は認識している。どれだけ期待に応えられるかがポイントだと思っており、次回会社の考えを示していく。

ベア満額獲得！諸要求改善するため団結して闘おう！！